

経営比較分析表（令和5年度決算）

京都府地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立京北病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド透訓	教臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	4,529	第1種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 教…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
38	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	38
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
24	-	24

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[] 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の関係・ネットワークをききむ）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域医療を担う自治体病院として、京都市立病院との連携の下、訪問診療・訪問看護等の在宅医療機能を強化することで地域に根差した医療・介護を提供する地域包括ケアシステムの拠点としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

入院患者がは前年度から横ばい、外来患者・介護施設利用者が減少し、医療・介護収益は減少したが、⑤入院患者1人1日当たり収益は前年度を上回った。また、新型コロナに係る補助金収入や運営費負担金（新型コロナ臨時交付分）の減少も要因となり、①経常収支比率および②医業収支比率は前年度から悪化した。

2. 老朽化の状況について

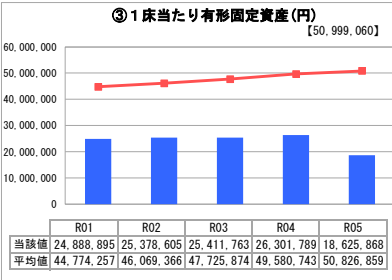
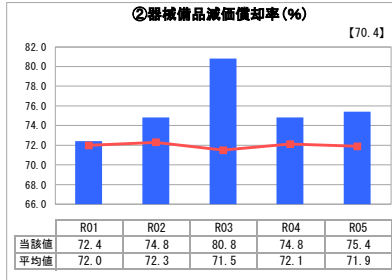
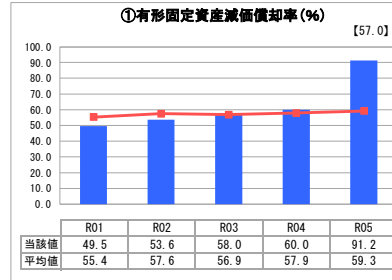
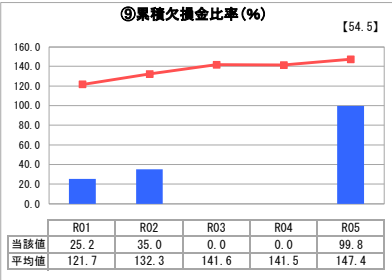
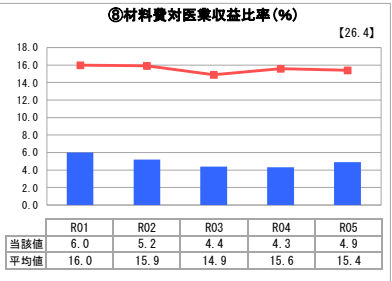
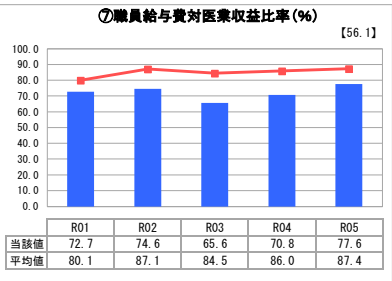
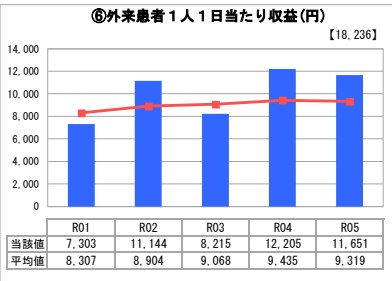
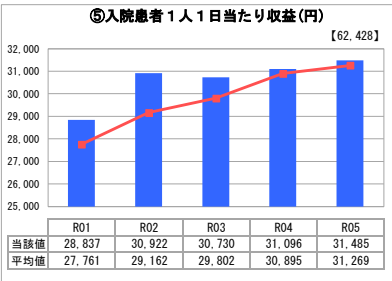
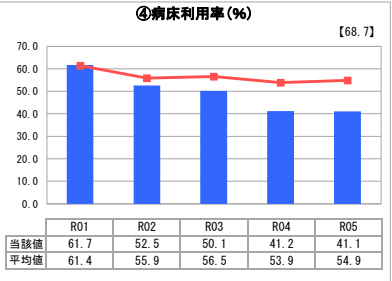
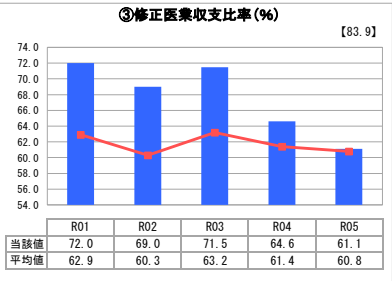
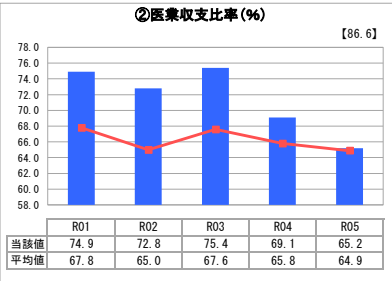
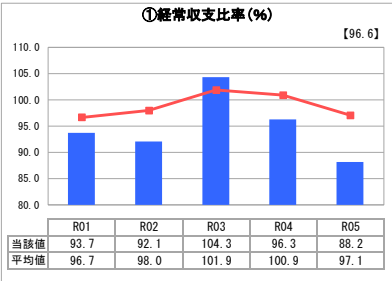
減損処理に伴う簿価の切り下げにより①有形固定資産減価償却率が前年度を大幅に上回っている。建物の一部は築39年を経過し老朽化が著しくなっており、今後根本的な対策の検討が必要になる。

全体総括

令和5年度は、地域包括ケアシステムの拠点施設として関係機関とのネットワークの構築を図り、地域包括ケア病床の運用や訪問診療・看護の充実に努めることで、地域に根差した医療・介護を提供した。

高齢化の進展に加え、京北地域の人口の減少による患者数の減少や病床利用率の低下という厳しい状況ではあるものの、在宅医療の強化や入院患者の確保さらには医療従事者の安定的な確保等に取り組んでいく。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。